



第2回真岡鐵道SLフェスタ

SLの走るまち拠点施設を 芳賀郡観光の発信基地局に

関亦議員 SLの走るまち拠点施設整備事業に関して、本市単独の施策にとどまらず、真岡鐵道沿線自治体の観光関係課とも協議を重ねつつ、積極的に連携を図ることが、真岡鐵道の乗客増加や真岡市内への誘客もできることにつながると考えるがどうか。

市長 本市では沿線の二市四町、芳賀地区広域行政事務組合及び真岡鐵道株式会社で構成する真岡線SL運行協議会と芳賀郡の一市四町で構成する芳賀地域整備推進協議会において、広域的な観光振興とイメージアップのためのPR活動

動を行っている。主な活動としては、年間を通じた各種イベント列車の運行やSLフェスタの開催等に加え、新宿駅、上野駅、大宮駅など、首都圏の駅を中心に物産品の販売等を通じた観光PR活動などを行っている。

SLの走るまち拠点施設については、芳賀地区を訪れる鉄道利用客をはじめ、団体、個人の旅行者など多くの方を引きつける魅力ある施設になるものと考えており、芳賀地方の広域観光振興が本市の観光振興に直結するものと考えている。これらの協議会において観光PRの強化や新たなイベントの検討を提案するなどSLの走るまち拠点施設の効果的な利用が促進できるよう沿線自治体との連携をさらに強化したいと考えている。

真岡市独自の フィルムコミッション導入を

佐藤議員 真岡市には、このような施設・特産品があるという窓口を作りPRをし、宿泊・食事等の段取りも行うことにより、ドラマや映画等の中で紹介することができ

き、経済効果も大きい。こういうものは逃がす手は絶対ないと正直言つて、私も五月五日に真岡市及び益子町を中心に撮影された鉄道捜査官十三のエキストラを一日経験させていただいて強く感じたところである。市の考え方を伺いできればと思う。

市長 フィルムコミッションとは、映画やテレビ番組、コマーシャルなど撮影に使用する場所や施設を登録しておき、必要な情報を提供して撮影に協力する機関である。この取組みによる効果としては、撮影隊の飲食や宿泊等による直接的な経済効果に加えて、地域のPRやイメージアップを図ることができ、多くの観光客に訪れていただくきっかけとなることがある。

現在、本市が進めている観光ネットワーク事業において、若手市民有志で活動する「もおか魅力発見隊」から、「もおかフィルムコミッション」を設立する提案がなされたところである。この提案では、撮影隊がもたらす経済効果や本市のイメージアップ、PR効果だけでなく、市民に自分の住んでいるまちを誇りに思ってもらうきっかけづくりとしてフィルムコミ

ッションを設立し、活動をしていくようにするものである。

今後、市としては、独自のフィルムコミッションの設立に向けたもおか魅力発見隊の活動を支援し、市民協働による観光のまちづくりを推進していきたいと考えている。

ABC(胃がん)検診 導入の考えは

佐藤議員 胃がんで亡くなる方が多くなってきた。ABC(胃がん)検診は採血検査するだけで診断ができ、早期発見、早期治療が可能となる。市の胃がん検診にABC検査を選択できるように

きないか、市の考え方を聞かせたいだけだと思う。

市長 ABC検診は、血液検査によつてピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮の程度を測定し、胃がんにかかりやすい状態かどうかを確認する検査で、がんそのものを発見するものではなく、胃がんのハイリスク者を抽出するための検診である。検診の結果、精密検査が必要と判定された場合には、内視鏡検査を確実に受診することやその後の経過観察が適正に行われることが重要となる。ABC検診は、栃木県内では一市が実施しており、その状況を見ると、受診者の約四六・六%が要精密検査に該当するため、検診後の精密検査の受診勧奨や受診管理対策が課題となっている。

本市の胃がん検診については、国のがん検診の実施のための指針に基づき、バリウムによる胃のレントゲン検査を年六十八回、集団検診で実施しているので、今後とも国の指針に基づき実施していきたいと考えている。

胃

